



令和7年度 主な教育活動の目標と方策

<p>（１）確かな学力の育成</p> <p>ア 確かな学力育成のための学習環境整備</p> <p>①学級経営を充実させて生徒が安心して発言（失敗）できる学習環境をつくる。</p> <p>イ 主体的・対話的で深い学びを促す授業改善の推進</p> <p>①授業のねらい、流れを明確に示し、振りかえりを一単位授業の中で実施する。</p> <p>（立川一中授業展開スタンダード活用）</p> <p>②教科横断的な学びで知識・技能の一層の定着を図る。</p> <p>ウ 個別最適な学びと協働的な学びの実現</p> <p>①ICT 機器を積極的に活用し協働的な学びを推進する。</p> <p>②UDL を意識し生徒が選択して学習する機会を作る。</p> <p>エ 思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>①問題解決学習や課題解決学習を重視する。</p> <p>②根拠に基づいた言語活動の充実、表現力を育成する。</p> <p>オ 指導と評価の一体化</p> <p>①PDCA サイクルに基づく指導と評価を推進する。</p> <p>②単元におけるルーブリック評価の作成に努める。</p> <p>カ 主体的に学習に取り組む態度の育成</p> <p>①家庭学習の定着を図り、学習意欲を向上させる。</p> <p>②定期考査前の質問教室、地域未来塾、夏季学習教室に取り組む。漢検、数検、英検を年各2回以上実施する。</p> <p>キ 学力調査結果の分析と活用</p> <p>①学力調査等を分析し授業改善推進プランを作成する。</p> <p>ク 校内研究の実施</p> <p>①「道徳科の授業力向上」をテーマに研究を深める。</p>	<p>（２）豊かな心の育成</p> <p>ア 生命尊重教育の推進（あたたかい人間関係の構築）</p> <p>①自己並びに他者を尊重する態度の育成を図る。</p> <p>②いじめや暴力は重要な人権問題であることを認識させるとともに、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ・暴力のない学校をめざす。</p> <p>③SOS 出し方に関する教育を推進する。</p> <p>イ 道徳教育の充実</p> <p>①より良く生きる基盤である道徳性を養うため、考え議論する道徳の授業を展開する。またローテーション道徳を実施する。</p> <p>ウ特別活動、総合的な学習の時間、立川市民科の活用</p> <p>①学級活動や行事を通して、望ましい人間関係を構築し、自己肯定感や達成感を味わい主体的に取り組む姿勢を育成する。（縦割りによる取組を実施）</p> <p>②地域と連携した学習を通して、他者とのつながりや自らの生き方を考えさせる。「知る」「関わる」「行動する」態度と社会性を育成する。</p> <p>エ 朝読書の充実</p> <p>①朝読書を通じて落ち着いた学習環境をつくり、読書活動を通じて表現力・言語能力の向上を図る。</p> <p>オ 社会性や奉仕の心の醸成</p> <p>①清掃や当番活動、ボランティア活動等を通して社会性や奉仕の心など豊かな心を育成する。</p> <p>②情報を正しく判断し、SNS等を適正に活用できるように情報モラルを育成する。</p>	<p>（３）健やかな心身の育成</p> <p>①体力テスト等を活用し自らの運動能力を高める。</p> <p>②セーフティ教室、薬物乱用防止教室、安全指導等を通して生徒の安全への意識を高める。</p> <p>（４）生活指導・キャリア教育の充実</p> <p>①支援する、傾聴する、寄り添う指導を基本とし、ダメなことは毅然な態度で指導する。</p> <p>②関係諸機関と連携した対応を推進する。</p> <p>③自己を知る、適性を知る、計画力、実行力、粘り強く取り組む力を育成する。</p> <p>④人権教育の推進</p> <p>（５）支援を必要とする教育の充実</p> <p>ア 特別支援教育の充実</p> <p>①校内委員会の充実とプラス教員や特別支援教室専門員と連携、教育支援センターたまがわ、フリースクール等の連携を推進し、個に応じた適切な対応を図る。</p> <p>②ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善と教室環境の整備を進める。</p> <p>③I 組生徒の社会的自立を図る教育を推進する。</p> <p>④I 組との交流を通して、共生社会の充実を図る。</p> <p>イ 不登校傾向生徒対応への充実</p> <p>①不登校傾向生徒の居場所としての「フラット」ルームの充実に取り組む。</p> <p>②居心地の良い学級経営を推進する。</p>	<p>（６）地域とともに歩む学校の推進</p> <p>ア コミュニティ・スクールの充実</p> <p>①学校運営協議会と連携し、地域の教育資源を活用し、保護者、地域と連携した教育活動を展開する。</p> <p>イ 地域とともに歩む学校づくりの推進</p> <p>①各種たより、ホームページ、メールシステム等を活用し、積極的に保護者へ情報提供し、相談体制の充実を図るとともに、学校評価を活用して地域とともに歩む学校づくりを推進する。</p> <p>②学校公開（土曜参観）や学校行事、生徒の発表等を積極的に保護者、地域に公開し、地域とともに歩む学校を推進する。また生徒の作品等を地域の会館や図書館に展示し、地域貢献に取り組む。</p> <p>（７）小中連携教育活動</p> <p>ア 校区3校による相互授業参観や協議会等を通して連携教育の一層の充実</p> <p>〔具体的な連携活動〕</p> <p>①小学校6年生を対象とした授業体験を実施する。</p> <p>②生徒会による一中紹介と部活動紹介を実施する。</p> <p>③校区小中児童・生徒による挨拶運動を実施する。</p> <p>（８）危機管理の充実</p> <p>ア 避難訓練、安全指導を通して生徒の防災への意識を高め、自助・共助の態度を育成</p> <p>イ アレルギー対応研修の実施</p> <p>ウ SNSトラブルなどの未然防止や対処法について学び、事件に巻き込まれない能力の育成</p>	<p>（９）組織的な学校運営</p> <p>ア サービス規律の徹底</p> <p>①コンプライアンスリーダーが中心となり、服務事故防止にかかわる研修を毎月計画的に実施する。</p> <p>イ チーム一中として</p> <p>①主幹教諭、各主任を中心とした学校組織体制の充実に取り組む。</p> <p>②「報告・連絡・相談・記録」を常に行い職務を遂行する。また、教職員が情報共有に努め、一体感をもった指導に取り組む。</p> <p>③職場全体で互いを高め合い、意欲的な教育活動を実践することを通して教職員の人材育成を図る。</p> <p>④生活指導の初期対応については「迅速・的確・誠実」に取り組み、事案の早期解決を図る。</p> <p>⑤共同事務実施支援職員との連携を通し、私費会計等の事務処理をマニュアルに従い円滑かつ適切に進める。また市事務等や用務員、給食配膳員さん等とのコミュニケーションを大切にする。</p> <p>⑥SC による教育相談の充実や学習支援員、副校長補佐、SSS 等の活用を通してチーム学校として組織運営を実施する。</p> <p>ウ 校内研修の取組</p> <p>①研究主任を中心とした校内研修の充実にも努め、特別支援教育、Q-U 理解、道徳科授業力向上研修を行う。</p>
--	---	--	---	---